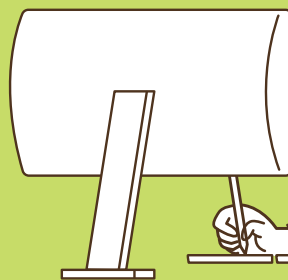


1回生から
参加可能!



教育



広告



商社

京都の社会が
あなたのキャンパスになる



大学コンソーシアム京都



出版

INTERNSHIP PROGRAMS

インターンシップ・プログラム 2022

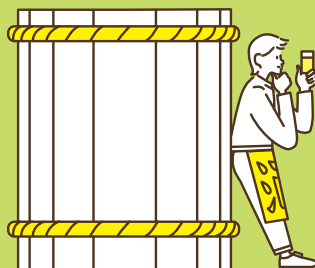
募集
ガイド



販売



通信



製造



宿泊

実習先を決定する

実習先検索サイトから
実習内容を検索!



Webで出願

4月15日(金) 9:00
~5月6日(金) 17:00



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

大学コンソーシアム京都のインターンシップ・プログラムについて

就職活動としてのインターンシップではなく、大学における学びの一環として位置づけ、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした教育プログラム（コーオペ教育）として、1998年度より全国に先駆けて開始しています。単なる就業体験にとどまらず、実践から「働く」を考え、社会人基礎力を育成するカリキュラムを持ったキャリア教育として、受講生からも高い満足度を得ています。

京都の魅力あふれる 企業・団体が参加

京都の企業、自治体、NPO、大学など
バリエーション豊かな受入先が魅力です。



京都地域の大学・短大から 学生が参加

同じ目的を持つ他大学の学生との交流があり、
多様な価値観にふれることができます。



大学コンソーシアム京都のインターンシップ・プログラム

1998年から開始の 豊富な実績でサポート

2021年度は、253名の学生と150の企業が参加しました。
これまでに約10,000名の修了生を送りだしてきました。



大学教員による 充実した事前・事後学習

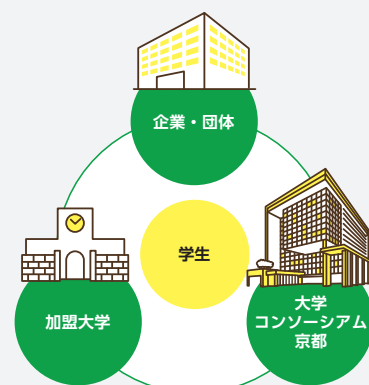
業種別クラスまたはプロジェクトに1人の教員を配置し、
少人数のゼミ形式による学習を実施しています。



公益財団法人 大学コンソーシアム京都

京都には、数多くの大学・短期大学が集積しています。その都市特性を活かすため、京都市と大学を中心とした産学公の連携により、1994年に全国初の大学連携組織である「京都・大学センター」が設立され、単位互換事業やインターンシップ事業など、全国に先駆けて様々な事業を実施してきました。現在は約50の大学・短期大学に加え、地方自治体・経済団体も参画する全国最大規模の大学間連携組織に発展しています。

グローバル化や少子高齢化をはじめ、私たちを取りまく社会環境は大きく変化しており、幅広い視野を持って社会を担う人材の育成や留学生受入れの拡充、更には地方創生の推進拠点としての位置付けなど、大学・短期大学に求められる社会的要請はより一層高まりを見せています。このような中、各大学・短期大学が、それぞれの特長や個性を活かした教育の質向上に努めるとともに、京都地域全体の魅力を向上させるため、大学連携組織としての当財団の果たすべき役割はこれまで以上に大きくなっています。これからも、大学コンソーシアム京都では、その時々の変化や大学・短期大学、学生や市民の皆様のニーズに対応しつつ、「大学のまち京都・学生のまち京都」の発展を目指し、事業を推進してまいります。



学生の間身につけたい「社会人基礎力」について

社会人として必要なマナーや言葉使いなど、今後社会で生きていく上で必要な能力を身につけていく場として、インターンシップに参加してみませんか。社会人基礎力は意識し、鍛えることで身につきます。学生のうちにインターンシップで「社会人基礎力」を鍛えて、一歩先へ進みましょう！

[3つの能力 / 12の能力要素]

1 前に踏み出す力(アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～

- 主体性……物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力……他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力……目的を設定し確実に行動する力



2 考え抜く力(シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～

- 課題発見力……現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力……課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力……新しい価値を生み出す力

3 チームで働く力(チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

- 発信力……自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力……相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性……意見の違いや立場の違いを理解する力
- 状況把握力……自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性……社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力……ストレスの発生源に対応する力



「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年から提唱しています。企業や若者を取り巻く環境変化により、「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが今まで以上に重要となってきています。 ➡ 経済産業省ホームページより <https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/>



京都の社会があなたのキャンパスになる

大学コンソーシアム京都 インターンシップ・プログラム2022

INTERNSHIP PROGRAMS 2022 説明会

オンライン
開催

説明会・相談会

4月16日(土) 18:00～

全プログラムについての説明会・相談会
2つのコースの特長や出願方法、修生生の体験談などを紹介します。

長期プロジェクトコース 説明会・相談会

4月21日(木) 18:00～

長期プロジェクトコースのみの説明
会・相談会です。実習先のご担当者
がプロジェクト内容を説明します。

- ▶ 入退場自由 / 服装自由
- ▶ 1回生から参加可能！

参加申込方法は、
ポータルサイトで案内します。
<https://www.consortiumkyoto-internship.jp>





ビジネスコース

実習先業種: 小売・販売・専門店
龍谷大学 3回生 (参加時)
駒井 緑人 さん

パブリックコース

実習先業種: 官公庁
奈良県立大学 3回生 (参加時)
増島 千波 さん

ビジネスコース

実習先業種: 商社・卸売
同志社女子大学 3回生 (参加時)
山内 月乃 さん

長期プロジェクトコース

実習先業種: コンサルティング・調査・研究
京都文教大学 3回生 (参加時)
飯田 棕太 さん

長期プロジェクトコース

実習先業種: 観光・旅行等
立命館大学 2回生 (参加時)
大谷 楓 さん



大学コンソーシアム京都

インターンシップ・プログラム 修了生座談会

立場や目標、働くことへの思いもさまざまな5名にインターンシップの様子や感想を語っていただきました。

ー大学コンソーシアム京都のインターンシップに参加した動機を教えてください。

飯田: 僕は大学コンソーシアム京都の事前説明会でプログラムの概要や先輩方の経験を聞き、まず、事前事後学習が充実している点に惹かれました。加えて、実習で実際に課題解決に当たれるという点も、自分が行っている大学の学びと結びつくのではと魅力的に感じました。2回生の時は活動に制限があったので、3回生では何か一つ大きなことに挑戦したくて、長期のコースに決めました。

大谷: 私と飯田さんと同じで、実習先での課題解決に惹かれました。また、他のインターンシップは事前事後学習のような「学び」がセットになっているところがほとんどなく、実習前にビジネススキルなどを学べるのも、自身の成長につながると思いました。

増島: 私は市役所の仕事に興味があり、業務内容をもっとよく知りたいと思っていたのですが、市役所のインターンシップは数が少なく、あっても市内在住者だったり、市内の学校在学者に限られていたりする場合が多いんですよね。大学コンソーシアム京都のインターンシップは、そういった条



件がなく、誰でも参加できるという点で安心でした。今まで私の通っている大学から参加した人は少なかったのですが、思い切って応募したらご縁をいただくことができました。

駒井: 僕は3回生の前期にあった、学外実習の説明会でこのインターンシップを知り、「とりあえずやってみるか」という気軽な気持ちで参加しました。他の大学の人とも交流できるし、自分の周囲でこのインターンシップに参加した人もいなかったの、何となく「いい経験ができるのではないか」と思ったんです。

山内: 私は「ガクチカ」、つまり学生時代に力を入れたことに自信がなかったので、それを得たいと思ったのが参加のきっかけです。また、大学コンソーシアム京都のインターンシップは、実習期間が最短でも10日間はあるので、それまで参加した短期のインターンシップでは伺えなかった、自分の足りないところも指摘していただき、自分自身を見つめ直せるよい機会になるのでは、という期待もありました。



ー実際に参加して、どのような学びがありましたか？

山内: 私は4人グループで「企業の健康経営を考える」という課

題に取り組み、リーダーを務めました。コロナ禍で2週間のうち出勤は3日間で、ほぼフルオンラインという形だったので、リモートワークが中心。「健康経営」とは何か、SDGsとどう関わるのか、などを会長さんから教えていただき、それを実習先



の企業に落とし込んでグループ発表を行いました。チームで仕事を行う時、メンバーの認識を確認して、目標を共有しないと物事が前に進みません。それを行う役割が「リーダー」なんだと、課題を通して実感しました。この学びは、授業のプレゼンや就職活動のグループディスカッションなどに、日々役

立っています。

駒井：僕が一番印象に残っているのは、事前学習で講義をしてくださった他大学の先生の言葉です。「自分に自信がなくて発表が苦手な人ほど、最初に発表すればいい」。意見を言う時、どうしても他の人と内容や質を比較してしまいがちなのですが、確かに最初なら比較しようがないんですね。そこではっと気付かされた後、実習に参加。やはり最初の研修プログラムで「自信を持って行動する方がいい」という指摘を受け、それを改善することを2週間の目標としました。発表の機会を多く設けてくださる実習先だったので、先生の言葉を実践するように努めた結果、良い評価をいただくことができました。

増島：私は市役所に実習に行かせていただき、啓発資料の作成やイベントのスタッフ業務などを行いました。もともと興味があった分野なので、勉強して資料を作るということ自体、学びになったのですが、課内の人と意見交換を行いながら業務に当たる中で、「働く」ことに対する見方も変わりました。皆さんが日々、知識をアップデートしながら働いておられるのを間近で見て、自分が「働くなら完璧じゃない」と、身構えていたことに気付かされたんです。学びながら進める。それは就職活動や社会人になった後でも役立つ大切な気づきだったと思います。

大谷：私は西舞鶴にあるゲストハウスの宿泊者向けオプションツアーを企画しました。参加したメンバーには1回生のアイデアマンがいて、いつも良い意見を出してくれていたのですが、私はもともと、発想することも自ら発言することも苦手で……。最初は口をつぐむことも多かったのですが、プレストを重ねる中で、「小さなことでも口に出せば、他の人がアイデアを出すきっかけになるかもしれない」という気づきを得て、意識を変えることができました。長期プロジェクトコースは5カ月間あるので、中休みをすることもあったのですが、その際「今は私が踏ん張ろう」と奮起できたのは、この学びがあったからだと思います。

飯田：僕は、「子育てと仕事の両立」をテーマにした、大学生向けイベントの企画・実施を行いました。学生にとって、仕事と育児はどちらも未知のもので、イメージがしづらい内容です。それをいかに伝えるかが、僕たちの最大の課題でした。企画段階では、イベントの方向性や目的を見失うこともあったのですが、周囲の方々からご意見を伺い、何度もブラッシュアップ。最終的に、2回の座談会を行い、1回目は学生だけでイメージをアウ



トプットし、2回目は子育て家庭を交えて意見を交換するという形で実施しました。開催までの過程を通して、柔軟な物事の見方や変化に適應する力を向上させることができたと思っています。

ー後輩の皆さんへメッセージをお願いします。

駒井：多くの人は3回生で参加されると思いますが、1・2回生の時に「何もできなかった」と思っている人こそ参加してみてください。理系の人は特にそうだと思うのですが、そのままでは専門分野だけに特化してしまいます。参加すれば、普段、自分がやらないことが経験できる。直接、研究や就職活動には結び付かずとも、絶対に役に立つと思います。

増島：私は就職活動やその前段階であるインターンシップに不安感やハードルの高さを感じていたのですが、思い切って参加することで心構えが変わり、物事に対する取り組みの仕方も変わりました。かついい理由やはっきりした目的がなくても大丈夫！参加すれば得るものがいっぱいあります。応募さえできれば、きっと新しい自分が始まりますよ。

大谷：私も最初は自分にできるのか不安だったんですが、長期でも意外となんとかあった。一緒に参加した仲間は、他大学ですが今も交流がありますし、お互いを刺激し合ういい関係が築けています。普段の生活では出会えない仲間に出会えることも、このインターンシップのいいところだと思います。迷っている方は、ぜひ飛び込んでみてください。

山内：私もいろんな人に参加してほしいと思うのですが、特に次の二つの特性を持っている人こそお勧めしたいです。一つは、自分なんか……と自信がない人。取り組んでいるうちに、自分が気づいていない特性が絶対に出てくるし、それを生かせる場所が見つかるはず。そしてもう一つは、逆に自分に自信がある人。自信があっても、失敗することやできないことはあるはず。それをいかにして乗り越えるか、どうやってモチベーションを立て直すかの訓練が、このインターンシップではできるはず。

飯田：僕は3回生で参加したのですが、実はこのインターンシップは1回生から参加できるんですよね。インターンシップは確かに就職活動の前段階という面はあるのですが、一步社会に出て体験をしてみるちょっとした機会でもあると思います。自分の興味関心を掘り起こす場と捉えて、できるだけ早めに参加すれば、それだけ早めに気づきを得られる。その後の大学生生活の充実度が変わってくるのではないかなと思います。



8月～9月中旬に、企業・行政機関・非営利組織において2週間(10日間)～1ヶ月程度の実習を行うコースです。

[事前学習]→[実習]→[事後学習]という体系化された学習プログラムを通じて、実社会への理解を深め、社会性や職業観を身につけるとともに、実習後の学生生活における課題の整理と目標を明らかにすることを目指します。事前学習・事後学習では、ビジネスコースは業界・業種別に、パブリックコースは行政・非営利組織別にクラスを編成し、他大学の学生と共に、業界研究やディスカッション等を行うことで、目標達成に向かいます。

対 象 大学・短期大学・大学院の正規学生

受講料 10,000円(加盟大学以外の学生 15,000円)

2022年度 コーディネーター

- | | | |
|------------------------------------|------------------|----------------|
| ●浅若 裕彦(大谷大学) | ●加藤 康(京都経済短期大学) | ●嘉本伊都子(京都女子大学) |
| ●岸岡 洋介(京都外国語大学) | ●黒宮 一太(京都文教大学) | ●小橋 晶(同志社大学) |
| ●高野 拓樹(京都光華女子大学・
京都光華女子大学短期大学部) | ●多田 実(同志社大学) | ●中道 一心(同志社大学) |
| ●濱田 崇嘉(龍谷大学) | ●平本 毅(京都府立大学) | ●古川 秀夫(龍谷大学) |
| ●増田 将伸(京都産業大学) | ●松村 千鶴(京都府立大学) | ●丸山 一芳(京都橘大学) |
| ●三浦 潔(京都文教大学) | ●三保 紀裕(京都先端科学大学) | |

ビジネスコース コーディネーター

濱田 崇嘉(龍谷大学)

膨大な経験値を得ることができるインターンシップ

インターンシップ(IS)は、今や大学生にとって、参加するのが当たり前のものになりました。各大学で実施しているものや、企業が個別に実施しているものなど、一口にインターンシップといっても様々です。では、大学コンソーシアム京都のISと、他のISとの違いは何でしょうか？それは、ズバリ、「知識と経験の共有」にあります。本プログラムでは、他大学の学生とともに、実習に行く事前準備をして、そして実習が終わったら、実習で得た知識と経験を共有します。これによって、一人だけでは得ることのできない膨大な知識と経験を短期間で得ることが可能になります。これが本プログラムの醍醐味です！



パブリックコース コーディネーター

黒宮 一太(京都文教大学)

「公務員として働く自分の姿」をより明確なものに！

公務員になりたいと思っている人、「公務員になって何をするの？」と尋ねられたとき、ちゃんと答えられるでしょうか？ おそらく難しいですよね。それもそのはず、わたしたちが日々暮らしているなかで公務員の方たちがどのような仕事をされているのかを知る機会はいまだ多くないからです。ぜひパブリックコースを受講してください。実際に公務員の方たちが取り組んでいらっしゃる日々の仕事を経験させてもらうことで、自分が知らなかった公務員の仕事を、また、日々の仕事への向き合い方を知ることができ、いまの自分に足りないこと、もっともっと磨かなければならない素養や技能は何かも明確になります。他の学生たちとともに学びあい、「公務員として働く自分の姿」をより具体的に思い描けるようになりましょう！



2022年度 講義計画

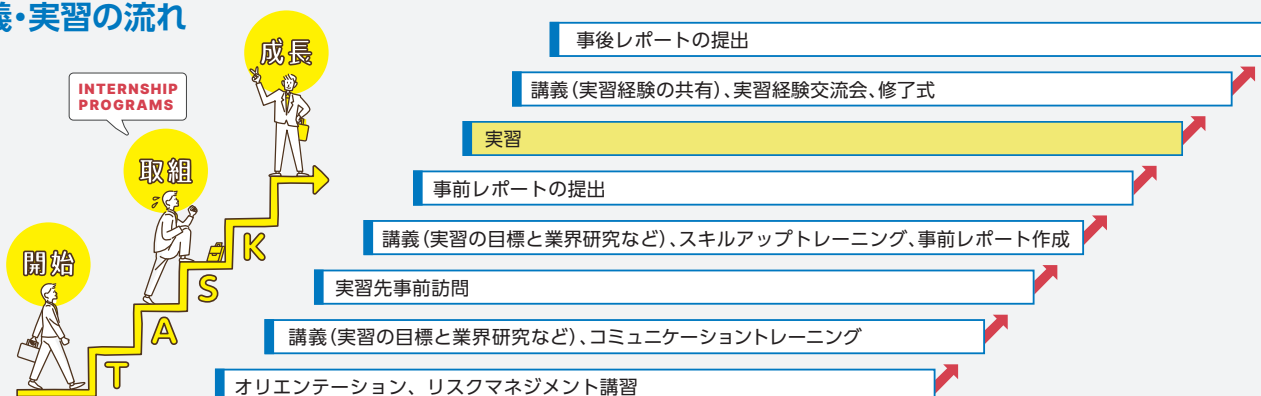
講義実施方法：オンライン (zoom)

	日程	コマ数	時間	講義名	講義形式	内容	
事前学習	6/18 (土)	第1講	10:00～10:30 (30)	オリエンテーション①: プログラム参加にあたって	全受講生	プログラムの概要やプログラムに臨む心構え等を説明します。	
			10:30～11:00 (30)	リスクマネジメント講習①: 事前学習に向けての心構え		インターンシップ・プログラムを受講する上でのリスクマネジメントを学びます。	
		第2講	11:20～12:50 (90)	クラスの相互理解	クラス	クラスに分かれ、担当教員を中心として、クラスメンバーの紹介をしいします。	
		第3講	13:50～15:20 (90)	実習に向けた仮説と目標の設定①	クラス	グループディスカッションを中心として、仮説と実習目標設定のための意見交換を行います。	
		第4講	15:30～16:30 (60)	コミュニケーショントレーニング		就業意識の向上、ビジネスマナーの基本、対人関係の中でのコミュニケーション能力等について、専門講師を招いて講習します。	
		第5講	16:40～18:10 (90)			オンラインでのコミュニケーションの取り方を学びます。	
	受入先との事前打合せ(初顔合わせ): 6月23日(木)～7月8日(金)の間に実習先を訪問またはオンラインでの打合せを行い、実習内容・期間の確認、事前学習レポート作成に向けてアドバイス等の指導を受ける。						
	7/2 (土)	第6講	10:00～11:30 (90)	業界と社会に対する学習①	クラス	受入先担当者や修了生のゲストスピーカーによるお話をもとに受入先について探求し、事前学習レポート作成のポイントを学び、内容を深めます。	
		第7講	11:40～12:40 (60)	業界と社会に対する学習②			
		第8講	13:40～15:10 (90)	スキルアップトレーニング	クラス	ロジカルシンキングの獲得を目指し、専門講師を招いて実践的理論を学びます。	
		第9講	15:20～16:50 (90)			オンラインでのグループワーク、コミュニケーションの取り方を学びます。	
	7/9 (土)	第10講	10:00～11:30 (90)	実習に向けた仮説と目標の設定②	クラス	グループディスカッションを通じ、事前学習の総まとめとして、実習目標を明確にします。また、事前学習レポートの書き方のポイントを学びます。	
		第11講	12:30～14:00 (90)	実習に向けた仮説と目標の設定③	クラス	グループディスカッションを通じ、事前学習の総まとめとして、実習目標を明確にします。また、事前学習レポートの書き方のポイントを学びます。	
		第12講	14:10～15:40 (90)	実習に向けた仮説と目標の設定④	クラス	事前学習レポートの内容をより深めます。	
		第13講	16:00～17:00 (60)	リスクマネジメント講習②: 実習・事後学習に向けての心構え	全受講生	実習中に留意しなくてはならないリスクについて学びます。実習にあたっての準備、確認・注意事項を確認します。	
			17:00～17:30 (30)	オリエンテーション②: 実習・事後学習に向けての事務連絡		レポート提出、実習中、事後学習に必要なポイント説明、事務連絡を行います。	
	7/16 (土)	予備日	10:00～18:00	※事前学習日に講義休止が発生した場合の予備日			
実習	実習の実施 (原則として8月1日(月)～9月16日(金)の期間で実施されます。実習期間中に担当コーディネーターによる中間指導があります。)						
補講日	9/10 (土)	補講日	9:00～10:30 (90) 10:50～12:20 (90)	※クラスによって実施される場合があります			
事後学習	9/17 (土)	第14講	10:00～11:00 (60)	実習経験の共有①	クラス	実習において得たことや感じた課題等について相互に発表を行い、個々の体験をクラスで共有します。それらに基づくディスカッションを通して仮説の検証を行い、レポートの内容を深めます。	
		第15講	11:10～12:10 (60)	実習経験の共有②			
		第16講	13:10～14:40 (90)	実習経験の共有③	クラス	実習経験交流会に向けて、クラスとしての経験共有をまとめます。	
		第17講	15:00～16:30 (90)	実習経験交流会	クラス グループ	実習を通して学んだことをクラスごとに発表し、他のクラスの発表を聞くことで、考え方や伝え方などを学び、事後学習レポートの内容に反映させます。	
		第18講	16:40～17:40 (60)	実習経験の振り返り/全体講評/修了式		他のクラスからのコメントを踏まえ各クラスで振り返りを行った後、全体講評による振り返りと修了証を授与します。	
	9/24 (土)	予備日	10:00～18:00	※事後学習日に講義休止が発生した場合の予備日			

■事前学習レポート提出期間：7月9日(土)～16日(土)

■事後学習レポート提出期間：9月17日(土)～10月1日(土) ※事前/事後学習レポート提出最終日の締切は 16:00 です。(時間厳守)

講義・実習の流れ





実習先一覧 ビジネスコース / パブリックコース

ビジネスコース

Business Course

製造 (食品)

- 2558 株式会社石田老舗
- 3386 亀屋良長株式会社
- 3458 丹波ワイン株式会社
- 1158 株式会社西利

製造 (電気機械設備)

- 1045 株式会社カシフジ
- 3343 金井ホールディングス株式会社
- 1142 寺崎電気産業株式会社
- 3250 パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社西日本社
※4月1日より「パナソニックコネクト株式会社」に社名変更予定
- 3398 由利ロール株式会社
- 3415 和晃技研株式会社

製造 (半導体・精密機器)

- 3325 株式会社魁半導体
- 3303 株式会社積進

製造 (その他)

- 3320 株式会社セイワ工業
- 3353 株式会社箭木木工所

不動産・建築設計

- 3406 株式会社インテリアホソイ
- 2527 京都駅ビル開発株式会社
- 3321 株式会社空間デザイン
- 3399 株式会社クレパー
- 3264 有限会社一級建築士事務所 ターボ設計
- 1138 株式会社長栄
- 3290 株式会社莫設計同人
- 2131 株式会社フラット・エージェンシー
- 3459 株式会社プロミネンス
- 3405 株式会社ロイヤル住建
- 2116 株式会社ローバー都市建築事務所

デザイン

- 1109 株式会社ジイケイ京都

情報・通信・IT

- 1080 協和テクノロジーズ株式会社
- 3354 株式会社クラックスシステム
- 3301 大和電設工業株式会社
- 3317 株式会社ディレクターズ・ユニブ
- 3419 株式会社ブリッジコーポレーション

マスコミ・広告・印刷・出版

- 3055 アートム株式会社
- 2160 株式会社あおぞら印刷
- 3187 株式会社京都通信社
- 3467 株式会社文化時報社
- 3424 宮川印刷株式会社
- 3435 株式会社ユニオン・エー
- 3370 株式会社らくたび

運輸・物流

- 3100 株式会社塚腰運送(Tsukagoshiグループ)

安全・メンテナンス・清掃

- 2119 株式会社アイアム
- 3323 株式会社ワタナベ美装

商社・卸売

- 2566 三共精機株式会社
- 2533 株式会社ヒトミ
- 3234 富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社京都支社

小売・販売・専門店

- 1072 京都生活協同組合
- 3387 生活協同組合コープしが
- 3021 株式会社花工房

レジャー・アミューズメント

- 3228 オーパルオブテックス株式会社
- 2492 近鉄レジャーサービス株式会社(志摩スペイン村)
- 3384 Y'sスポーツガーデンパデル京都

エンタテインメント

- 3044 ビーイングホールディングス株式会社

ブライダル

- 3200 株式会社エイジェイクリエーション

ホテル・旅館

- 3316 株式会社国華荘 びわ湖花街道
- 3227 里湯昔話 雄山荘
- 3395 柊家株式会社

観光・旅行

- 1151 西陣くらしの美術館富田屋
- 3169 有限会社丸益西村屋

金融・証券・保険

- 3033 株式会社菱総合保険
- 1022 株式会社エスアールエム
- 3238 SMBC日興証券株式会社
- 3129 西村証券株式会社
- 3452 株式会社ラクール保険事務所

士業 (法律・会計事務所)

- 3049 特許業務法人京都国際特許事務所
- 3440 こもだ法律事務所
- 1156 弁護士法人中村利雄法律事務所

コンサルティング・調査・研究

- 1104 サンスイコンサルタント株式会社
- 2285 しあわせ総合研究所グループ
- 3423 株式会社地域計画建築研究所
- 3148 株式会社地域未来研究所

人材ビジネス

- 2141 株式会社OVO

教育 (学校・大学等)

- 2314 大谷大学
- 2320 京都外国語大学 京都外国語短期大学
- 3451 京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部
- 1066 京都産業大学
- 2309 京都女子大学
- 3110 京都精華大学 京都国際マンガミュージアム
- 2337 京都先端科学大学
- 2565 京都文教大学
- 2312 同志社大学
- 2315 佛教大学
- 2322 立命館大学
- 2282 学校法人龍谷大学
- 3345 社会福祉法人熊千代会 こぐま上野保育園
- 1125 公益財団法人大学コンソーシアム京都

医療・福祉

- 3350 公益社団法人京都市身体障害児者父母の会連合会
- 3449 社会福祉法人京都福祉サービス協会
- 3362 社会福祉法人清和園 京都市久世特別養護老人ホーム
- 3266 医療法人社団 千春会
- 3319 社会福祉法人同胞会 DOHOグループ

その他

- 3327 京都工業株式会社
- 3468 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団
- 3457 一般社団法人京都中小企業家同友会
- 2592 公益財団法人びわ湖芸術文化財団
- 3291 株式会社ユメコム

パブリックコース

Public Course

官公庁

2101 綾部市役所
1238 宇治市役所
2396 近江八幡市
3447 大津市
1243 亀岡市役所
1244 京田辺市
1245 京都市
1246 京都府庁
1251 滋賀県庁
1254 長岡京市役所
3071 彦根市
3420 文化庁地域文化創生本部
3469 防衛省 自衛隊京都地方協力本部 河原町募集案内所
1255 宮津市役所
1256 守山市役所
3056 野洲市
2289 栗東市役所

非営利組織

3114 一般財団法人 大阪教育文化振興財団
1264 特定非営利活動法人 気候ネットワーク
3359 特定非営利活動法人 京都藝際交流協会
1266 公益財団法人 京都市国際交流協会
1267 公益財団法人 京都市ユースサービス協会
1268 一般財団法人 京都ユースホステル協会
3462 特定非営利活動法人 クリエイター育成協会
1269 公益財団法人 公害地域再生センター(あおぞら財団)
3330 特定非営利活動法人 子育て支援コミュニティおふいすパワーアップ
3244 特定非営利活動法人 子ども自立の郷ウォームアップスクールここから
3223 特定非営利活動法人 とよなか市民環境会議アジェンダ21
2436 認定NPO法人 びわこ豊穡の郷

2022年2月10日現在の登録企業・団体です。最新情報は、随時更新中のポータルサイトで確認してください。
※企業・団体名の前の4ケタ数字はID番号です。



**実習先の追加や実習内容変更の可能性があります！
出願前に必ずWebで最新情報を確認してください！**

実習先リストの確認

ポータルサイト(ビジネスコース／パブリックコース実習先リスト)

<https://consortiumkyoto-internship.jp/business-public-course/#training-list>



実習内容の確認

実習先検索サイト

実習予定日、受入要件、実習のアピールポイント、ご担当者からのメッセージなど掲載
<https://internship.consortium.or.jp/student/>



※ポータルサイト トップページからも検索サイトに簡単にアクセスできます。

<https://consortiumkyoto-internship.jp/>



●実習内容は感染拡大状況などにより実施時に変更する場合があります。

インターンシップ期間中に「仕事と育児の両立体験プログラム」に参加しませんか！

大学コンソーシアム京都のインターンシップ・プログラムと連携し、京都府主催の「仕事と育児の両立体験プログラム」を実施します。インターンシップ期間中に、府内企業で働く子育て中の共働き家庭に訪問(または、オンライン接続)し、受入家庭のお子様との交流のほか、仕事と育児の両立に関するヒアリング等を行います。

自分が将来、家庭を持って子育てする姿を具体的にイメージすることのできる、とても貴重な経験となりますので、ぜひご参加ください。

●プログラム内容(予定)

事前学習: 将来のライフデザインを考えるワークショップや、“両立のリアル”について学ぶ動画ワーク等

体験学習: 2名1組となって共働き家庭に訪問(または、オンライン接続)し、仕事と育児の両立を疑似体験

※体験内容(訪問の場合): 保育園お迎え、ご飯準備、遊び、受入家庭の方へのヒアリング等
(オンライン接続の場合): 子どもとの交流、受入家庭の方へのヒアリング等

事後学習: 本プログラムを通しての気づきや両立に向けた課題を振り返り

最終発表会: 仕事と育児の両立が可能な社会の実現に向けた取組を提案

●問い合わせ先

京都府健康福祉部こども・青少年総合対策室 TEL:075-414-4591

詳しくは京都府HPをご覧ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により内容を変更する場合があります。

https://www.pref.kyoto.jp/shoshi/work-life_intern.html



4月16日(土)の
プログラム事前説明会で
ブースを設けています。
興味のある方はぜひ、
お越しください。



6月中旬～11月下旬にかけて、企業・行政機関・非営利組織が提示するプロジェクトを実行するコースです。

プロジェクトを通して、さまざまな角度から実社会を見つめ、現状を把握する力、課題を発見する力、その課題を解決する力を身につけることが目標です。受入先が提示したプロジェクトのテーマに沿って成果重視の活動を行うプログラムであり、受入先にとっても大きなメリットがあります。そのため専門性や独創性が求められます。

対 象 大学・短期大学・大学院の正規学生

受講料 15,000円(加盟大学以外の学生 20,000円)

2022年度 コーディネーター

- 小辻 寿規（立命館大学）
- 坂本 清彦（龍谷大学）
- 桜沢 隆哉（京都女子大学）
- 築地 達郎（龍谷大学）
- 西村 雅信（京都工芸繊維大学）
- 野村 実（大谷大学 4月就任予定）
- 吉田 咲子（京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部）

長期プロジェクトコース コーディネーター

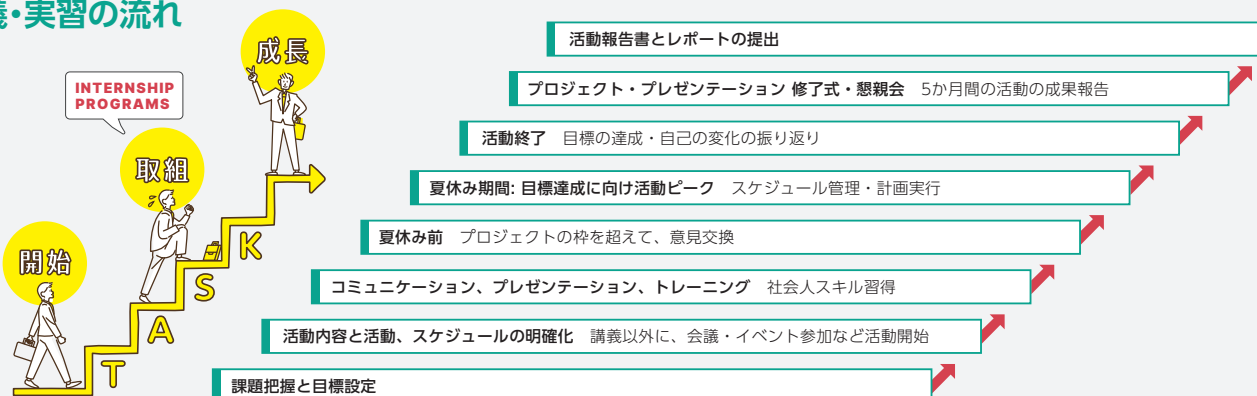
吉田 咲子（京都光華女子大学）

新しい時代の働き方を体験するインターンシップに

日本企業は「メンバーシップ型」から「ジョブ型」へシフトしつつあります。昨年度COVID-19の影響で、大学コンソーシアム京都市は、オンラインを駆使したインターンシップを実施しました。異なる大学で学ぶ学生がチームとなり、オンラインで企画をまとめたことは、新しい働き方の貴重な体験となりました。長期プロジェクトコースは、「組織や地域の課題」に「学生らしい発想」で解決策を企画立案し、社会人と意見交換しながら目標達成を目指します。私たちと一緒に、これからの時代に求められるチーム活動を体験しましょう。



講義・実習の流れ



6/30(木)実施 特別講演

これからの働き方、求められるコミュニケーション能力について、実践されている方の考え方や事例を学びます。

18:30～19:30 現代仕事論

講師：パナソニック株式会社 くらし事業本部 PC戦略本部 CCXOチーム（3月1日時点）
長谷川 錦哉 氏

卒業後、松下電器産業（現パナソニック）に入社。産業機器、ユーザーインタフェースなどのデザインを手掛けた後、1998年より、音響機器のデザインを担当。2012年から、イギリス（ロンドン）に赴任し、デザインセンター欧州拠点長として最先端のデザインと開発プロセスを日本に発信し続ける。2021年10月より現職。10年先を見据えたブランド価値の最大化を推進。

くらしの進化を支えるため、新たな価値を提案するパナソニック。デジタルとネットワーク技術が進化する時代に一人ひとりが求めるものとは何か？その答えを見つけ出す組織の働き方をお話しいたします。



全体の流れ	日程	コマ数	時間	講義名	講義形式	内容	
プロジェクトの導入	6/16 (木)	第1講	18:30～19:00 (30)	オリエンテーション(プログラムの概要)	全受講生	プログラムの概要、諸注意、事務連絡、担当コーディネーターの紹介。 各プロジェクトごとに自己紹介を行う。	
			19:00～19:30 (30)	プロジェクトのテーマの共有とチーム形成		各プロジェクトの課題と目的を共有し、チーム形成に繋げる。	
		第2講	19:40～21:10 (90)				
	受入先事前訪問期間:6月17日(金)～6月22日(水)の間に実習先を訪問またはオンラインでの打ち合わせを行い、プロジェクトについて指導、アドバイスを受ける。 (プロジェクトごとに設ける)						
プロジェクトの形成	6/23 (木)	第3講	18:30～19:30 (60)	コミュニケーショントレーニング	全受講生	チーム形成のためのコミュニケーション能力等について、専門講師による講習を受ける。	
		第4講	19:40～21:10 (90)	プロジェクトの形成 (ワークシートの進め方)		プロジェクトの形成と管理の概要を理解する。 (ワークシート①から④までの理解)	
	6/30 (木)	第5講	18:30～19:30 (60)	特別講演 (現代仕事論)	全受講生	外部講師を招き、現代社会にふさわしい働き方を考える。	
		第6講	19:40～21:10 (90)	プロジェクトの形成 (ワークシートのブラッシュアップ)	各プロジェクト	目標の明確化に向け、ワークシートに取り組み、進捗を共有する。	
	7/7 (木)	第7講	18:30～19:30 (60)	プロジェクトの管理	全受講生	コーディネーターからの講義を通じて、プロジェクト管理の思考法を学ぶ。	
		第8講	19:40～21:10 (90)	プロジェクトの形成 (ワークシートのブラッシュアップ)	各プロジェクト	ワークシートに取り組む。	
	7/14 (木)	第9講	18:30～19:30 (60)	プロジェクトの形成 (ワークシートのブラッシュアップ)	各プロジェクト	ワークシートに取り組む。	
		第10講	19:40～21:10 (90)	プロジェクト・マネジメント (進捗の共有)	全受講生	他のチームの受講生との意見交換を行い、プロジェクト活動の完成度を高める。	
	7/21 (木)	予備日	18:30～19:30 (60)	※夏期休暇前に講義休止が発生した場合の予備日			
		予備日	19:40～21:10 (90)				
	夏期休暇中には、受入先ごとにプロジェクトを行います。						
	9/1 (木)	第11講	16:50～17:50 (60)	プレゼンテーショントレーニング (映像コンテンツの活用法)	全受講生 各プロジェクト	プロジェクトの夏期活動中間報告に向けて映像コンテンツの活用法を学ぶ。	
		第12講	18:00～19:30 (90)	サマーセッション プロジェクト・マネジメント (プロジェクト夏期活動中間報告)		映像を制作し、中間報告を行う。	
		第13講	19:40～21:10 (90)				
	夏期休暇中には、受入先ごとにプロジェクトを行います。						
	プロジェクトの振り返り	9/29 (木)	第14講	18:30～19:30 (60)	プロジェクト・マネジメント (ワークシートのブラッシュアップ)	各プロジェクト	ワークシート①から④までの見直しと、ブラッシュアップを行う。
			第15講	19:40～21:10 (90)			
10/6 (木)		第16講	18:30～19:30 (60)	プロジェクト・マネジメント (受入先とのコラボ)	各プロジェクト	受入先とともにワークシートを作りこむ。	
		第17講	19:40～21:10 (90)				
10/20 (木)		第18講	18:30～19:30 (60)	プロジェクト・マネジメント (プロジェクト・プレゼンテーションにむけた プレゼンテーション準備)	各プロジェクト	プロジェクト・プレゼンテーションにむけた準備を行う。	
		第19講	19:40～21:10 (90)				
10/27 (木)		予備日	18:30～19:30 (60)	※夏期休暇後に講義休止が発生した場合の予備日			
		予備日	19:40～21:10 (90)				
プロジェクト報告・評価	11/5 (土)	第20講	10:40～12:10 (90)	プロジェクト・マネジメント (自己評価:プログラム受講を通して自己の変化を振り返る)	全受講生	プログラム受講を通じた自己の変化を振り返る。	
		第21講	13:00～14:30 (90)	プロジェクト・プレゼンテーション 修了式		約5ヶ月にわたるプログラムの総括として、プロジェクトごとに活動報告を行う。全体で、それぞれのプロジェクトの到達点について相互評価を行い、今後の学生生活の目標を明らかにする。	
		第22講	14:40～15:40 (60)				
		第23講	15:50～17:50 (120)				

●講義は感染症の拡大状況他、その他の社会状況によりキャンパスプラザ京都(対面)またはオンライン(ZOOM)にて実施します。

●7月、8月、9月の毎週少なくとも1回は受入先または実習現場(オンラインを含む)での活動を行います。

●学習レポートおよびプロジェクト報告書 提出期間：11月5日(土)～10日(木) ※最終日の締切は 16:00 です。(時間厳守)

脱炭素社会と再生可能エネルギー 100% 実現に向けた調査・情報発信

ID3245 特定非営利活動法人気候ネットワーク

脱炭素社会の実現に向けて「再生可能エネルギー100%実現」「脱炭素地域づくり」に関する情報収集・発信、調査研究、イベント開催、広報等を行います。新しいスキルを身につけ、構想力・創造力・企画力の向上につながる体験をしてください!



気候ネットワークWebsite → <https://www.kikonet.org/>

きょうのやましなさんプロジェクト

ID3285 株式会社インサイトハウス

山科を歩き回り、子供から大人、お年寄りまで様々な方の想いやストーリーを聴き、集め、インタビュー記事として形にして、HP、Facebook、フリーペーパー、回覧板、絵本などを通して地域の人々向けに発信。まずは「自身が楽しむ」をモットーに活動していただきます。



やましなさんWebsite → <https://ie9000.jp/yamashina/>

高級ワインを通じて社会の仕組みを知り、一流社会人になる!

ID3361 株式会社ワイングロッサリー

高級ワイン専門店ワイングロッサリーの3つの部門、高級品、貴重品の小売販売でのサービスとその裏側、WEBマーケティング、卸販売の仕組みを知っていただきます。世界の共通語でもあるワインに詳しくなることで、今後の社会人としての幅も広がります。



ワイングロッサリー Website → <https://www.winegrocery.com/>

京都のインバウンド観光情報メディアコンテンツ拡充及び新規ソリューション企画

ID3364 株式会社ディアライブ

外国人観光客への動画インタビューサイト「Traveler's Voice of Kyoto」のコンテンツ拡充及びPR業務がプロジェクトです。企画やマーケティングの世界は用意されている正解はありません。是非積極的に意見やアイデアを発信してください。



Traveler's Voice of Kyoto Website → <http://kyoto.travelersvoice.tv/ja>

“つくる”×“つたえる”で、なりたい自分を見つける!

ID3409 関西巻取箔工業株式会社(KANMAKI)

大切にしているコトがどうすれば人のココロに響くかを、一緒に考えて発信するプロジェクト。※「iPhoneで5秒PR動画をつくろう! (2019)」 「KAN-MAKIの箔をアップサイクルして、名刺をつくる (2021)」



KANMAKI note → <https://note.com/kanmaki/>

女性が手に職をもって輝ける職場づくり

ID3431 株式会社大槻シール印刷

当社は「まちのシール屋さん」。女性が70%を超える印刷業では珍しい会社です。「職」とは、時間をかけて積み重ねてゆくものです。様々なハードルでも、離職せずに働き甲斐をもって続けられる会社づくりの提案を期待しています。



(株)大槻シール印刷Website → <http://www.otsuki-seal.co.jp/>

日本一小さな百貨店で考える持続可能な暮らし

ID3460 チャレンジつねよし百貨店実行委員会

京都府北部、京丹後市にある【日本一小さな百貨店】。商店、コミュニティセンターとしての百貨店をベースに、お客様や地域の方との交流を通じ、持続可能な暮らし、理想とするコミュニティのあり方を考えます。具体的な活動内容は実習生の専攻や希望を聞きながら決定します。



つねよし百貨店 Website → <http://e-mura.jp/tsuneyoshi/>

子どもが抱える「困った」を地域で解決していくための取り組み・仕組みづくり

ID3461 特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば

子どもを取り巻く環境はどんどん悪くなっており、子どもの貧困は7人に1人という数字で社会課題の一つとなっています。コロナ禍で家庭環境の厳しさが増す中、誰も取り残さない社会にするにはどうしたらいいのか、活動を通して一緒に考えてみましょう。



山科醍醐こどものひろばWebsite → <http://www.kodohiro.com/>

「福祉 × IT × 地域」で障害者が安心して働ける世の中づくりプロジェクト

ID3463 特定非営利活動法人クリエイター育成協会

私たちは、障害者の方々を持つスキルを活かし、企業や地域にとって欠かせない存在となれるようサポートしています。事業所に通う方々の魅力と、社会のニーズをマッチさせるためにできることは何か？一緒に考え、広い視野でアイデアをまとめてください。何かで一步を踏み出してみたい—そんな学生さんぜひ参加ください！



クリエイター育成協会Website → <https://cra.jp/>

～SDGsの観点から「まちの活動団体」さんの次の一歩を応援・提案するプロジェクト～

ID3464 有限責任事業組合まちとしごと総合研究所

下京いきいき市民活動センターは、「SDGs とダイバーシティの観点でまちやシゴトと活動をつなげるダイバーシティズン・センター」です。活動団体さんへSDGsの観点から活動が一步前へ進むような提案や活動を共に考え、伴走していただくThink&Doプロジェクトを共に実施していきましょう！



下京いきいき市民活動センターWebsite → <https://www.shimogyo-ikiki.net/>

地域フィールドラボプロジェクト

ID3466 一般社団法人 Impact Hub Kyoto

花背は、千年以上の歴史を持つ、祇園祭のちまき笹の採集地です。環境と共生する営みで、世界中から注目されている里山です。ここをフィールドに自然と共生する地域の方々から学びながら、さまざまな異分野の人々と一緒に、地球環境が持続し、地域が発展する、これからの森づくりを実践することができます。フィールドラボ花背に参加してみませんか！



Impact Hub Kyoto Website → <https://kyoto.impacthub.net/>

NPO・市民活動への関心を高め、参加と応援の機会を増やすプロジェクト

ID3470 特定非営利活動法人きょうとNPOセンター

NPO・市民活動団体は、市民や社会からの理解や応援を得ることでより力を発揮することができます。NPO・市民活動団体の取組みを、どんな人たちにどのように働きかけ、伝え、と団体の応援につながるか、企画から実施までを一緒に考え、取り組みましょう。



きょうとNPOセンター Website → <https://kyoto-npo.org/>



**実習先の追加や実習内容変更の可能性があります！
出願前に必ずWebで最新情報を確認してください**

実習先リストの確認

ポータルサイト(長期プロジェクトコース実習先リスト)

<https://consortiumkyoto-internship.jp/long-term-project-course/#training-list>



実習内容の確認

実習先検索サイト

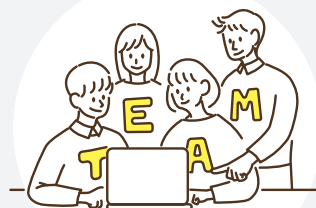
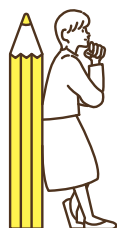
実習予定日、受入要件、実習のアピールポイント、ご担当者からのメッセージなど掲載
<https://internship.consortium.or.jp/student/>



※ポータルサイト トップページからも検索サイトに簡単にアクセスできます。
<https://consortiumkyoto-internship.jp/>



●実習内容は感染拡大状況などにより実施時に変更する場合があります。



インターンシップ参加の流れ

出願から実習開始までの6つのステップを紹介します。

STEP 1 コースを決定する

大学コンソーシアム京都のインターンシップには、2週間～1ヶ月程度の実習を行う「ビジネスコース／パブリックコース」と組織から提示されるプロジェクトを実行する「長期プロジェクトコース」の2つのコースがあります。それぞれのコースの特長を把握してから決定してください。

※ビジネスコース／パブリックコースと長期プロジェクトコースを併願することはできません。

ビジネスコース / パブリックコース → P5～P8

長期プロジェクトコース → P9～P12

STEP 2 実習先を検索する

企業・団体・官公庁・大学など豊富な分野から、インターンシップ先を選べます。実習先検索ページから検索してください。企業・団体名だけではなく、登録内容(実習内容や実習期間、受入要件)を確認してください。

実習先検索 Find Placement

一般企業から官公庁、そして非営利組織など。
大学コンソーシアム京都のインターンシップだから参加できる企業がたくさん！



STEP 3 出願する

【Web出願期間】4月15日(金) 9:00～5月6日(金) 17:00

※入力された内容、控えについては、各自で保管してください。

入力途中での保存はできませんのでご了承ください。

実習先は、第3志望まで選択できます。但し、ビジネスコース／パブリックコースでは、「2次選考」を行う企業・団体は第1志望でしか選べません。

出願はこちら Entry application

大学生なら誰でもエントリーできる！ 京都の他大学の学生と一緒にインターンシップに参加しよう！



STEP 4 面接を受ける

【面接日】● 5月13日(金) 15:30～18:30

● 5月14日(土) 10:00～17:00

※出願者全員に対して面接(1次選考)を実施します。

※ビジネスコース／パブリックコースはグループ面接、長期プロジェクトコースは個人面接です。

※オンライン(zoom)で実施しますので、Web出願時に面接日時を予約してください。

※面接時は、原則スーツ着用です。

STEP 5 選考結果発表

【発表日】6月4日(土)

ポータルサイトにて受講許可者の選考番号一覧を掲載します。出願者全員に対して、選考結果通知書を郵便にて送付します。

※実習先に直接問合せをしないでください。

※選考結果通知書は、Web出願の際に登録された住所にお送りします。

※受講許可者には、選考結果通知書にて決定した実習先をお知らせします。

STEP 6 受講料を支払う

選考結果通知書に同封されている払込取得票を使用のうえ、期限内にコンビニエンスストアより払込み手続きを行ってください。

【振込期限】6月13日(月)

● 受講料

ビジネスコース／パブリックコース 10,000円(加盟大学以外の学生は、15,000円)

長期プロジェクトコース 15,000円(加盟大学以外の学生は、20,000円)

受講料は、講座運営費・保険料・施設使用料・その他諸費用にあてられます。

出願・面接について

Q:出願方法を教えてください。

出願期間内にWebを通じて出願してください。出願データを登録する際、入力途中で保存はできませんので、別途下書きを作成・保存しておくことをお勧めします。Web出願の手順・作成方法については、HPをご覧ください。

Q:志望理由はどのようなことを書くのでしょうか？

「インターンシップを通じてどんな成長をしたいのか」「どんな社会経験を積みたいのか」など、個別の志望先の志望理由ではなく、インターンシップ全般に対する意欲を400字以内で記入してください。志望理由については、決定した実習先に公開します。

Q:面接はどのように行われますか？

オンラインにて面接(ビジネスコース/パブリックコースはグループ面接、長期プロジェクトコースは個人面接)を行いますので、Web出願時に面接日時を予約してください。面接日2日前までにzoom接続先、集合時間、注意事項等をお知らせします。面接時の服装は、原則スーツ着用です。

事前・事後学習、講義について

Q:どんな服装で参加すればいいですか？

講義内容によってスーツ着用が必須の日と、普段着の日があります。初日の服装は、選考結果通知書とともにお知らせします。

Q:ビジネスコース/パブリックコースの事前・事後学習はどのように行われますか？

事前・事後学習は全てオンラインで実施します。講義内容によって受講生全体またはゼミクラスに分かれて講義を行います。ゼミクラスは実習先の業種や実習内容で分かれており、担当コーディネーターの先生や様々な大学の学生と交流できます。

インターンシップ・実習について

Q:実習日程は決まっていますか？

出願時に既に実習日程が決定している実習先もありますが、決まっていない実習先については、実習先事前訪問時に双方確認・相談のうえ、決定する予定です。

Q:実習は対面で行われますか？

実習先によって、オンラインで実施する実習先もありますので、志望実習先の実施方法について十分確認してください。社会状況により、対面の予定からオンラインに変更となる場合があります。

対面で実施される実習に参加する場合は、実習先から提示される感染症予防対策を遵守するとともに、各自、健康管理に気を付けてください。対面での実習参加に対して疑問や不安がある場合は、インターンシップ事業推進室(事務局)にご相談ください。

Q:実習地への交通機関は？

出願する前に、実習地に公共交通機関で通勤できるか、所要時間をよく確認してください。バイク・自動車での通勤は一切認められていません。

Q:長期プロジェクトコースの講義はどのように行われますか？

原則、キャンパスプラザ京都にて対面で行います。新型コロナウイルスの感染状況により、講義の実施方法が変更(オンライン)になる場合がありますのでご了承ください。講義出席に対して疑問や不安がある場合は、インターンシップ事業推進室(事務局)にご相談ください。

Q:講義に出席できない日があります。

ビジネスコース/パブリックコースの事前・事後学習、長期プロジェクトコースの講義は、出席必須です。あらかじめ予定を調整してください。

留意点と約束事

大学コンソーシアム京都のインターンシップ・プログラムに参加するにあたり、必ず読んで下さい。

●誓約書について

実習中のトラブル発生時の責任の所在を明確にするために実習先に対して誓約書を提出します。インターンシップは契約関係の上に成立していることを十分心得て、個人個人が確固たる自覚を持って実習に取り組んでください。

●保険の加入について

実習中の事故に備えて、実習生は「普通傷害保険」「個人賠償責任保険」に加入します。(保険料は受講料に含み、手続きは、大学コンソーシアム京都が一括して行います。)

●守秘義務について

実習先にとっての機密や個人情報等に触れる機会がありますが、このような情報を公開したり漏洩したりすることは、社会人として信用性を疑われるだけでなく、法的責任を課せられることにもなりかねません。勝手に資料をコピーする、許可もなく外部に持ち出す、SNS等へ書き込むなどの行為等は絶対に行わず、責任をもって行動してください。

●無断欠勤・遅刻について

実習中は実習先の就業規則を遵守し、遅刻・無断欠勤等は厳禁とします。最低限定刻の15分前には出勤するように心がけましょう。実習期間中に病気及び緊急の用件等でやむを得ず欠勤する場合は、必ず実習先担当者に連絡を入れてください。また車・バイクでの通勤は一切認められていません。

●リスクマネジメントについて

実習中に発生した事故やトラブルに対しては、原則として参加実習生個人の自己責任において処理し、問題解決までを行うよう努めてください。もし、困ったことがあれば事務局までご相談ください。あくまでも社会のルールにのっとった姿勢で実習に臨んでください。

●プライベートは自己責任

実習時間外のお付き合い等(酒席・食事など)はインターンシップ実習ではありません。自分で考えて行動してください。

●ハラスメントについて

大学コンソーシアム京都では、ハラスメント相談室を設置しています。困ったときには些細なことでもご相談ください。相談方法は、電話またはメールで、ハラスメント相談員宛にご連絡ください。
連絡先:TEL 075-353-9103(日・月曜日を除く 9:00 ~ 17:00)
メール:talk@consortium.or.jp

●通信環境・機器について

2022年度インターンシップ・プログラムは、出願、面接、事前・事後学習及び講義において、ビデオ会議システム(zoom)を活用して実施します。各自、下記の通信環境・機器を揃えたうえで受講してください。(Web面接までに準備ができれば可)

①インターネット回線 ②カメラ・マイク ③パソコン(パソコンでの参加を推奨します。)

加盟大学・短期大学一覧

● 国立大学

京都大学
京都教育大学
京都工芸繊維大学

● 公立大学

京都市立芸術大学
京都府立大学
京都府立医科大学
福知山公立大学

● 私立大学 短期大学

池坊短期大学
大谷大学
京都医療科学大学
京都外国語大学
京都外国語短期大学
京都華頂大学
華頂短期大学
京都看護大学
京都経済短期大学
京都芸術大学
京都光華女子大学
京都光華女子大学短期大学部
京都産業大学
京都女子大学
京都精華大学

京都西山短期大学
京都先端科学大学
京都橘大学
京都ノートルダム女子大学
京都美術工芸大学
京都文教大学
京都文教短期大学
京都薬科大学
嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学
種智院大学
成安造形大学
同志社大学
同志社女子大学
花園大学
佛教大学
平安女学院大学
平安女学院大学短期大学部
明治国際医療大学
立命館大学
龍谷大学
龍谷大学短期大学部
大阪医科薬科大学
京都情報大学院大学
放送大学・京都学習センター

2022年3月現在



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

インターンシップ事業推進室

窓口受付時間：火～土曜 9:00～17:00

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内

※京都市営地下鉄、JR・近鉄「京都駅」から徒歩7分程度

TEL. 075-353-9106 FAX. 075-353-9101

E-Mail : intern@consortium.or.jp

インターンシップ・プログラム ポータルサイト
<https://www.consortiumkyoto-internship.jp>

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 ウェブサイト
<https://www.consortium.or.jp/>



大学コンソーシアム京都 インターンシップ

